



自民党豊島区議団

細川 正博

【豊島区議会レポート】 号外 ～ゲリラ豪雨対策特集号～



2/15(日)、区民ひろば南大塚にてゲリラ豪雨対策のパネルディスカッションなど「まちづくり報告会」を開催いたしました。その一端をご紹介します。(報告会の概要については Blog に記載、パネルディスカッションについては動画も公開しております。細川正博のウェブサイトをご覧ください)

[ゲリラ豪雨被害が増えている理由]

近年都市部に局地的豪雨(いわゆるゲリラ豪雨)による被害が増えている大きな原因の一つに、都市化の進展により短時間に大量の雨水が地表面に流出することが挙げられます。

以前は、50%が地下に浸透し50%が地表に流出という想定でしたが、現在は20%が地下に浸透し80%が地表に流出という想定となっております。コンクリートやアスファルトで地表面が覆われていることが原因となっております。

この事に加え、非常に短時間に豪雨が集中する傾向があるために各所で被害が発生する事態となっております。

豪雨自体が増加している原因は地球温暖化やヒートアイランド現象などの影響があると言われております。



発行責任者：豊島区議会議員 細川 正博

住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚 1-51-17 TEL/FAX：03-3945-2530

e-mail: info@hosokawamasahiro.jp 公式サイト: <http://www.hosokawamasahiro.jp/>

<略歴>昭和53年豊島区南大塚生まれ。私立巣鴨幼稚園、区立巣鴨小学校、法政大学法学部政治学科

(平成13年卒)を経て公益法人に勤務(平成13~22年)、平成23年豊島区議会議員選挙にて初当選

[ゲリラ豪雨対策の経緯]



希望者へ土のうを配付



コンクリート蓋をグレーチング(Gr)へ交換

H25.08.26 ゲリラ豪雨による水害(床上・床下等 131 件)

H25.09.15 台風の影響により水害(床下 4 件)

H25.08,09 区による緊急対応(土のう配付,Gr へ交換)

H25.09 関連する 5 町会と要望書を取りまとめ

H25.10.01 豊島区長宛に要望書提出

H25.10.11 東京都下水道局長宛に要望書提出

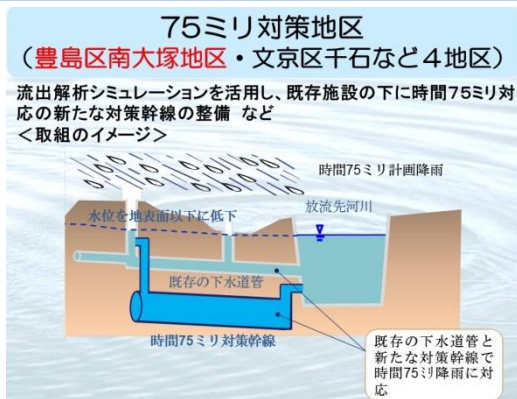
H25.12 「東京都下水道緊急プラン」発表

H26.05 小規模緊急対策工事完了(バイパス工事)

雨水枡増設完了(計 7 か所)

H26.07 千川幹線 下水道再構築工事完了

H26 土のうステーション完成



↑住宅地では初の 75mm/h 対応へ
H32 年(2020 年)までに一部効果発現
南大塚地区だけで 30 億円規模の大工事



↑土のうステーションの整備



↑下水道再構築工事
古くなった下水管を再構築して耐久性・耐震性を増すほか、流下性能を確保

南大塚地区における小規模緊急対策について



↑「小規模緊急対策工事」
南大塚 1-3.4 の間にバイパス管を新設
事業費は約 1 千万円
水位上昇時に効果を発揮します

[今後の対応など]

ハード面で出来ることに関しては、これでほぼ出揃いました。

今後は降雨情報の発信や啓蒙活動(側溝の掃除、物をおかないなど)、防災訓練の充実などのソフト面の充実を図る必要があります。

また、被災後の税金減免の窓口が分かりづらい(特に都税と区税の窓口)という問題もありました。この点の改善も行政へ求めているところです。

自然災害が未然に防げるに越したことはありませんが、2度と同じ被害が起きぬよう対応することも非常に大切です。安全安心なまちの基盤づくりを引き続き行っていく所存です。